



石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）の 開催結果について

令和6年1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震を踏まえ、各機関において、道路の早期復旧を目指しているところです。

現在、被災地へ流入する一般車両が一部の道路に集中することにより、各地で渋滞が発生し、支援物資運搬や復旧作業の支障となっていることから、学識経験者、行政、高速道路会社及び交通事業者等で構成される「石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施するための議論を行いましたので、結果を別紙1のとおりお知らせします。

（参考）第1回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）

1. 日時：令和6年1月12日（金）15:00～15:30
2. 場所：WEB開催（会場：金沢河川国道事務所）
3. 委員名簿：別紙2のとおり

会議資料は、北陸地方整備局ホームページで公表しています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2023/1/240112dourobukaigi.pdf>

<記者発表先> 石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 電話：025-280-8880(代)

道路部 道路計画課 課長 きたで 北出 一雅 （内線 4211）

第1回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 結果概要

- 石川県能登地域周辺の道路被害とこれまでの対応状況、及び現状の交通課題等について、関係機関相互で幅広く意見交換を行った。
- 各機関が連携し道路の啓開作業に取り組んでいるところであるが、被災地を往来する車両が通行可能な道路に集中することで渋滞が発生し、支援物資運搬や復旧作業の支障になっている状況を確認した。
- 道路の啓開状況及び大型車の通行可能な路線について共有し、通行可能な大型車の規格は、車長 9.5m×車幅 2.5m（汎用的なタンクローリー程度）であることを確認した。
- 交通状況に応じた一般車両の通行制限や信号現示調整、SNS 等による一般車両への出控え要請の継続のほか、ピーク時間帯をずらした資材運搬など行動変容の呼びかけ、交通が集中している道路と並行する道路など計画的な早期啓開の重要性など、渋滞対策について議論した。
- また、災害ボランティアの受け入れ対応や土砂、瓦礫処理への対応等、更なる交通量の増加が想定される。
- 今後の交通状況に応じて、関係機関が連携し必要な調整を図り、その時点で必要な対策を柔軟に検討・見直しながら交通マネジメントを実施していく。
- 緊急復旧を進めている道路の通行情報や復旧情報について掲載する「道路復旧見える化マップ」の公開予定について周知した。（別紙3）

石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 委員名簿

敬称略

公立小松大学 教授 高山 純一

金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長

国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長

石川県 土木部 道路建設課 課長

石川県 土木部 道路整備課 課長

石川県 警察本部 交通規制課 課長

輪島市役所 建設部 土木課 課長

珠洲市役所 環境建設課 課長

能登町役場 建設水道課 課長

穴水町役場 地域整備課 課長

公益社団法人 石川県バス協会 専務理事

一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事

中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長

のと鉄道 常務取締役兼鉄道部長

I Rいしかわ鉄道 安全推進室長

自衛隊 中部方面隊第4施設団防衛班長

自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任

石川県県民ボランティアセンター 事務局長

※関係機関に要請し追加する場合もある

「道路復旧見える化マップ」掲載情報

1/12 17時頃公表予定

※掲載情報は今後随時更新予定

URL <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>



道路の緊急復旧済み区間、作業状況



七尾市から輪島市・珠洲市への所要時間・速度状況(毎日更新)



道路被災状況(航空測量各社※調査の空撮画像を集約)

(※朝日航洋(株)・アジア航測(株)・国際航業(株)・(株)バスコ)

